

# 平成22年度 分野チェックリスト

分野名	みどり・環境分野		分野番号	2
分野担当部	環境清掃部	関連部	都市整備部	

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			19年度	20年度	21年度	22年度末	
1	杉並区の大気の状態(二酸化窒素の濃度)	ppm	0.032	0.032	0.029	0.030	
2	区民一人あたりのごみ排出量	g/日	618	565	554	430	
3	リサイクル率	%	21.9	25.9	26.6	45.0	
4	公共施設の緑化面積	ha	34.37ha (19年度) 5年ごとの調査	34.37ha (19年度) 5年ごとの調査	34.37ha (19年度) 5年ごとの調査	増大させる	
5	杉並区が美しいと思う人の割合	%	73.8	73.2	74.9	70.0	

※指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 東京都が平成15年10月から開始したディーゼル車規制は、平成18年度さらに基準が強化され、国においても平成17年10月からより厳しい排気ガス規制(新長期規制)が実施されました。さらに、平成21年にはディーゼル車に関して、ガソリン車と同レベルの排ガス規制値となる目標値が設定されました。これらの規制強化に加え、電気自動車やハイブリッド車など低公害車の普及促進、アイドリングストップなどのいわゆるエコドライブの普及などにより、今後も指標値の減少をめざしていきます。
- 一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向け、平成20年度に実施した分別変更により、ごみ量が大きく減少し、新たな分別も区民・事業者に一定程度浸透したことによって21年度についても引き続き減少傾向を維持しています。  
また、広報すぎなみや清掃情報誌「ごみぱっくん」などにより、ごみの減量動向や処理経費の推移などの情報を公開し、区民・事業者に分かりやすくごみの減量・リサイクルの普及啓発活動を実施していきます。また、さらなるごみ減量に向けて、新たな資源品目や、排出者責任の明確化に効果のある家庭ごみの戸別収集及び有料化について、引き続き検討を行っていきます。
- 平成20年度に実施した分別変更により、不燃ごみの8割を占めていたプラスチック類の資源化が大きく進展し、ごみの減量と併せてリサイクル率の向上を図ることができました。また、資源持ち去りに対する罰則規定を新設した、改正廃棄物の処理及び再利用に関する条例の施行や早朝パトロール等により持ち去り業者への取り締まりを強化した結果、古紙の回収量が増加しました。  
今後は、リサイクル事業の推進のための新たな資源品目の検討とともに、資源回収したものを効率的に資源化できる施設の確保が課題となっています。
- 平成19年度実施のみどりの実態調査による公共施設の緑化率は、22.0%(今回の調査における区全体の緑被率は21.84%)でした。みどりを大切に守り育てることは、区民の協力なしには実現不可能です。今後も公共施設では校庭の緑地化や屋上緑化などに積極的に取り組み、新たな緑被率の目標25%を目指して、区民とともに杉並のみどりづくりに努めていきます。
- 平成21年10月から、路上禁煙地区において条例違反者に対する過料徴収を実施しました。区内全域での歩きたばこや吸い殻のポイ捨て防止指導を一層強化・徹底したことのほか、「まちをきれいにしたい」とする区民の意識も増えてきており、毎年開催される「杉並・わがまちクリーン大作戦」の参加者も9,755人と前年比10%増となっていることから、「杉並区が美しいと思う人の割合」がさらに上昇したといえます。これからも区民との協働のもと、地域の美化活動を推進していきます。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)																								
	定義																									
1	杉並区の大気の状態(二酸化窒素の濃度)	○ (単位: ppm)  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下井草</td> <td>0.036</td> <td>0.036</td> <td>0.031</td> <td>0.030</td> <td>0.029</td> </tr> <tr> <td>区部平均</td> <td>0.039</td> <td>0.038</td> <td>0.036</td> <td>0.034</td> <td>0.033</td> </tr> <tr> <td>多摩平均</td> <td>0.032</td> <td>0.031</td> <td>0.028</td> <td>0.026</td> <td>0.026</td> </tr> </tbody> </table>		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	下井草	0.036	0.036	0.031	0.030	0.029	区部平均	0.039	0.038	0.036	0.034	0.033	多摩平均	0.032	0.031	0.028	0.026	0.026
			17年度	18年度	19年度	20年度	21年度																			
	下井草		0.036	0.036	0.031	0.030	0.029																			
	区部平均		0.039	0.038	0.036	0.034	0.033																			
多摩平均	0.032	0.031	0.028	0.026	0.026																					
杉並区役所測定室の二酸化窒素の測定値(定点測定)																										
二酸化窒素の1時間値の年平均値(単位: ppm)																										
下井草: 東京都が設置した自動車排出ガス測定局																										
2	1人1日(年間)あたりの排出ごみ量(家庭系)	○23区 610g(21年度) ○東京都 586g(20年度) ○国 1,033g(20年度) 【参考】 東京二十三区清掃一部事務組合:平成21年度ごみ量確定値 東京都環境局一般廃棄物対策課:「東京都区市町村清掃事業年報平成20年度」より23区の収集方法に合わせてごみ量を再集計した。 環境省:「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成20年度)について」																								
	ごみ(可燃+不燃+粗大)÷杉並区の人口(10月1日現在、外国人を含む)÷365日 一般廃棄物処理基本計画のごみ減量に係る指標の一つ																									
3	リサイクル率	○23区 22.0% ○東京都 23.2%  【参考】 東京二十三区清掃一部事務組合:平成21年度ごみ量確定値 東京都環境局一般廃棄物対策課: 「東京都区市町村清掃事業年報 平成20年度」																								
	$\frac{\text{区資源回収量} + \text{集団回収量}}{\text{区資源回収量} + \text{集団回収量} + \text{ごみ排出量}}$ 一般廃棄物処理基本計画の算出方法による																									
4	公共施設の緑化面積	○近隣区との比較(他区との比較は緑化率で行う) 練馬区(18年度調査) 25.7% 世田谷区(18年度調査) 16.6% 目黒区(16年度調査) 13.7%(区立施設のみ) 杉並区(19年度調査) 22.0%																								
	公園を除く公共施設の緑化率																									
5	杉並区が美しいと思う人の割合	○近隣区の住みやすさ等の調査 新宿区 住まい周辺の環境がよい(25.1%) 世田谷区 地域の生活環境がよい(48.3%) 練馬区 まちなみの美しさ(24.9%) いずれも平成16年度データ																								
	「杉並区区民意向調査」より																									
特記事項																										